健康教養を高めて短命県返上を　健康づくり講座

健康に対する意識向上を目的に、昨年12月から３月まで、松の館で健康づくり講座が計４回開催されました。このうち、２月21日は弘前大学大学院医学研究科の中路重之科長を講師に迎え、「平均寿命のアップのために我々ができること」をテーマに講演が行われ約160人が参加しました。

中路氏は、“短命県”青森県を沖縄県や長寿日本一の長野県と比較しながら「がん、脳卒中、心筋梗塞が多く、その背景には、高い喫煙率・肥満者率・多量飲酒者率、低い検診受診率があり、雪や県民所得、医師不足の影響は大きくない。地域、学校、職場で健康教養の普及に取り組み、一人一人の知識・意識・考え方を高めていくことが大切」と呼びかけました。

健康に対する意識向上を呼びかける中路科長

世界遺産登録に向けて機運高める 亀ヶ岡文化フォーラム2014

縄文文化について理解を深めたフォーラム

ＮＰＯ法人つがる縄文の会（野呂隆昌理事長）主催による「ＪＯＭＯＮ亀ヶ岡文化フォーラム2014」が３月11日、松の館で開催され、約80人の市民らが参加しました。

この日は、市教育委員会の佐野忠史学芸員が平成25年度の亀ヶ岡遺跡の発掘調査について「縄文時代晩期から弥生時代の遺跡が良好な状態で見つかり、弥生時代に入っても人々が暮らしていたと考えられる」と報告。その後、新潟医療福祉大学医療技術学部の奈良貴史教授が、一昨年、田小屋野貝塚で発見された縄文時代前期の成人女性と見られる人骨について「放射性炭素の年代測定の結果、縄文時代の人骨であることが科学的に裏付けられた。骨の分析から魚類や木の実を組み合わせた食生活をしていたことが覗える」と解説し、参加者は熱心に聞き入っていました。

伝統の津軽凧 天高く舞う　つがる市稲垣凧揚げ大会

第20回つがる市稲垣凧揚げ大会が３月９日、稲垣町の岩木川河川公園で開催され、県内外から25団体、約250人の愛好者たちが集まって凧揚げの腕前を競い合いました。

同大会は稲垣凧の会（横山勇一会長）が主催。競技は各部門に分かれて行われ、凧の揚げ方、安定度、鳴りなどの審査が行われました。この日は風に恵まれ、大凧や創作凧が空高く舞い上がり、大きな歓声が沸いていました。

結果は次の通りです。（敬称略・最優秀賞のみ）

子供の部：寺田宋令、Ａクラス：千葉勝雄、Ｂクラス：村上幹雄、Ｃクラス：杉山力、団体の部：松山凧の会、創作の部：田畑修

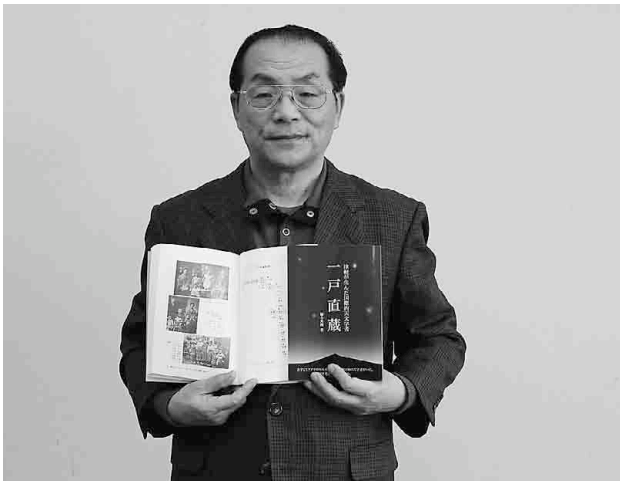
大空高く舞い上がる凧を操る参加者

木造出身の国際天文学者「一戸直蔵」の伝記を刊行

郷土史研究家の福士光俊さん(森田町)が、旧木造町吹原出身で日本の天文学界に多くの功績を残した一戸直蔵の伝記「津軽が生んだ国際天文学者 一戸直蔵」を刊行しました。

一戸直蔵は明治11年生まれ。東京帝国大学大学院を修了後、アメリカのシカゴ大学ヤーキス天文台で世界最大の望遠鏡による変光星の研究を積み重ねました。帰国後、日本で３人目、県人初の理学博士となり、日本天文学会の創立、ハレー彗星の観測、総合科学雑誌「現代之科学」の発刊など天文学や科学の普及と発展に貢献しましたが、42歳の若さで生涯を閉じました。

福士さんは「つがる市に日本の天文学の先駆者がいたことを知って、郷土の誇りにしてもらいたい」と話していました。同書は市内小中学校や松の館図書室に寄贈されました。



一戸直蔵の伝記を刊行した福士さん

歌を通して元気を届ける　市民有志が福祉施設を慰問

ぎんなん荘で歌を披露する友志会のメンバー

市内福祉施設で高齢者に歌のプレゼントをする慰問活動を続けるカラオケ愛好者グループ友志会（三戸富廣代表）が、このほど、養護老人ホーム「ぎんなん荘」と木造福祉センター「かっこうの館」を訪問し、歌声を届けました。ぎんなん荘では、会のメンバー６人がカラオケに合わせて楽曲を披露。心待ちにしていた入居者は、聞き覚えのあるなつかしのヒット曲や演歌などに合わせて手拍子をするなど笑顔で歌を満喫していました。最後に三戸さんが入居者にプレゼントを手渡し、「これからも元気で長生きしてください」と励ましの言葉をかけていました。三戸さんは「今後も歌を通して元気を届ける活動を続けていきたい」と話していました。

外崎裕漼さんが日中水墨画合同展で内閣総理大臣賞受賞

第31回日本・中国水墨画合同展（３月10日～18日）で、下車力町の外崎裕漼（本名･外崎裕司）さんの水墨画「峡」が最高賞に次ぐ内閣総理大臣賞を受賞しました。

同展は日本・中国水墨交流協会(東京都)が主催。外崎さんの作品は、日本、中国の各地から出品された272点の作品の中から選ばれ、期間中、東京美術館で展示されました。

今回の受賞作品はＦ50号の大作で、外崎さんは「見た人に何かを感じてもらおうと抽象的な作品を描いた。なかなかもらえない賞を頂き光栄です。これからも一層の努力をしていきます」と話していました。

作品は五所川原市金木町にある水墨画館に展示されています。

内閣総理大臣賞を受賞した外崎さん

合併10周年記念「つがる市民提案事業」を募集します

つがる市は平成27年２月11日に合併10周年を迎えます。市民提案事業は、この合併10周年を迎えるにあたって本市の一体感の醸成を図り、また本市の魅力や特色を効果的に情報発信するため、市民団体が主体的に企画し実施する取り組みやイベントに対して事業経費を補助します。

●対象となる事業
⑴　本市の魅力を市内外にＰＲできる事業
⑵　本市の一体感の醸成や魅力あるまちづくりに資する事業
⑶　本市の歴史や特性を再認識できる事業
⑷　その他合併記念にふさわしい、市民が主体的に実施する取り組み

●事業実施期間　平成27年４月１日から平成28年１月31日までに着手し完了する事業

●補助金の区分

区分	補助上限額	補助率	審査方法
通常事業	20万円	補助対象経費の全額	ヒアリング審査
特認事業	上限なし	審査により補助割合を決定	プレゼンテーション審査

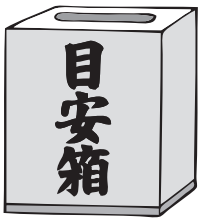
●対象団体　①代表者がつがる市民で、市内に活動拠点がある市民団体、町内会・ＰＴＡ等の地域活動団体、ＮＰＯ等の法人　②つがる市内に校舎のある学校、幼稚園、保育所

●募集期間　平成26年４月15日から平成26年８月29日まで

●募集要領の配布場所　市役所企画調整課、稲垣出張所、車力出張所、つがる出張所（イオンモール内）、松の館
市ホームページからもダウンロードできます。

【申し込み・問い合わせ先】企画調整課　電話42－2111（内線354）

市民の皆様から寄せられたご意見



市では、市民の声を市政運営の参考とさせていただくために、市役所、各出張所に目安箱を設置しており、またホームページでもご意見を受け付けています。
今回は２～３月に寄せられたご意見のうち、主なものをお知らせします。

主な意見	回　答（担当課）
しゃこちゃん温泉ついて。 カランにずっと故障の札が下がり、それが増えて使う場所が少ない。シャワーの出も悪く、総合点検とかしないのでしょうか。また、お客がいるのに棚掃除とかして不愉快です。改善してほしいです。	カランのメンテナンスについては、日常点検を実施しておりますが、故障などメンテナンスで対応できないものについては順次交換しております。今回、カランの交換等に時間を要したため、皆様にご不便をおかけし申し訳ありませんでした。今後とも速やかに対処できるよう努めてまいります。 また、不快な思いをさせお詫び申し上げます。市では、施設の管理をしている指定管理者に対し業務の改善をするよう指導してまいりますので、ご理解をお願いします。（介護課）
つがる市の行政連絡員の任務や報酬について教えてください。	当市の行政連絡員は、非常勤の特別職で任期１年（再任可）、報酬は、基本額と戸数割額の算出方法により年額報酬としております。 現在、157地区を152名の方に委嘱し、市の広報紙及び市からの広報物の配布を担って頂いております。 また、市からの配布回数は、月２回（年間24回）としております。 （秘書広報課）

【問い合わせ先】秘書広報課　電話42－2111（内線559）

「つがる市姉妹都市国際交流事業」参加者募集

アメリカホームステイ体験参加者募集（国外事業）

国際交流を通じて異国の文化や習慣を体験してみませんか。国際語である英語の習得や広い視野を持った国際感覚を身に付けることは、その後の人生に大きな影響を与えるほど貴重な体験となるでしょう。

■行　　先：アメリカ合衆国メーン州バス市、ニューヨーク等
■期　　間：平成26年７月19日㈯～７月29日㈫
■人　　数：18人以内　※人数が多い場合は、選考基準により参加者を決定します。
■対　　象：中学１年生以上のつがる市民
■費　　用：自己負担10万円　※この他パスポート取得費用や海外傷害保険料等は別途ご負担いただきます。
■内　　容：ニューヨーク市内見学、メーン州知事・バス市長表敬訪問、日本文化交流、アウトドア体験、博物館見学、ショッピング体験等。
※バス市での滞在はホームステイとなります。
■申込締切：**平成26年４月18日㈮**

ホームステイ受入れホストファミリー募集（国内事業）

日本にいながら、つがる市の姉妹都市である米国メーン州バス市の方と交流できるホームステイの受入れプログラムです。バス市から来日し、本市に滞在する方々の宿泊先となるホストファミリーを募集します。

■期　　間：平成26年８月１日㈮～８月11日㈪※日程が変更になる場合もあります。
■人　　数：バス市からの来日者は20人を予定。
■内　　容：ホストファミリーには、宿泊場所・朝食・夕食の提供や集合場所までの送迎等をお願いします。
※ホストファミリーにはつがる市姉妹都市協会から食事代等の補助として５万円支給されます（ただし協会への入会が必要です。年会費2,000円）
バス市から来日する訪問団の皆さんは、平日の日中は団体で市内見学などします。
■申込締切：**平成26年６月20日㈮**

【申し込み・問い合わせ先】企画調整課　電話42－2111（内線351）

つがる市「長寿大学」のご案内

学習活動で教養を習得し、仲間づくりを通じて充実した毎日を過ごすことを目的に「長寿大学」開催します。

時期・回数　５月から11月まで〔５月20日から開講〕（全７回開催）
場　　所　生涯学習交流センター「松の館」他
入学資格　市内在住の概ね60歳以上の通学可能な方
経　　費　受講料不要。ただし、傷害保険料として（500円）を申込時に納めてください。
申込方法　入学を希望される方は、４月25日㈮までに経費（500円）を添えて、運営委員の方にお申し込みください。運営委員がわからない方・いない地区の入学希望の方は、直接、教育委員会社会教育文化課へ経費を添えて、お申し込みください。
※長寿大学は、老人クラブ会員でなくても入学できます。午後の自主活動としてレクダンス、社交ダンス、園芸、グラウンドゴルフ、カラオケ等の各クラブがあります。

【申し込み・問い合わせ先】つがる市教育委員会　社会教育文化課　電話49－1200